

自閉症スペクトラム障害を併せ持つ難聴児が 表情と状況から推測する情動語

平島ユイ子

国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 言語聴覚学科

はじめに

- 早期の難聴診断と補聴（補聴器や人工内耳）
- 通常学級に在籍する難聴児の増加
- 通常学級での問題
 - 対人関係の困難さ
 - 自閉症が疑われる難聴児の存在

(AHIC : Autistic Hearing Impaired Children)

自閉症のある難聴児 難聴児の1.7%

(米国ギャロデット大学調査2009-2010)

対人関係に問題やこだわりのある難聴児

聾学校生徒の4.1%

(日本の聾学校の調査 大鹿,濱田2010)

対人面の苦手さの原因

- ・ 自閉症児の情動認知・心の理論課題の難しさ
- ・ 難聴幼児の情動認知力の低さ
(Carin H. Wiefferink, Carolien Rieffe, etc. 2012)
- ・ AHICの情動認知？

目的

自閉症を伴う難聴児（AHIC）が表情と状況から推測できる情動語の特徴を明らかにする。

対象

AHIC（自閉症のある難聴児） 4人

年齢 平均10歳4ヶ月（8歳8ヶ月－12歳2ヶ月）

良耳裸耳聴力 平均65.0dB（49－83dB）

語音明瞭度 平均88.8%（80－100%）

装用閾値 平均33dB（26-40dB）

知能（WISC）PIQ103.3（91－129）VIQ96.0（65-118）

HIC（難聴児） 18人

年齢 平均9歳6ヶ月（8歳1ヶ月－10歳8ヶ月）

良耳裸耳聴力 平均67dB（35－106dB）

装用閾値 平均32dB（24－43dB）

語音明瞭度 平均91.1%（64－100%）

知能（WISC）PIQ103.8（72－134）VIQ99.5（77-131）

NHC（聴児） 18人

年齢 平均9歳11ヶ月（8歳10ヶ月－10歳9ヶ月）

方法

- ・ 絵（怒り，悲しみ，恥じらい，心配）を見せ、**思いつく情動語**をできる限り多く書かせた。
- ・ 書かれたことばを分類する。
 - (1) 標的情動（例：うれしい）
 - (2) 標的行動（例：わらう）
 - (3) 類似した情動（例：たのしい）
 - (4) 異なる情動（例：おこっている）
 - (5) 判断不可（例：わー）
- ・ (1)～(3)を情動語とし、語数（**情動語数**）を求めた。



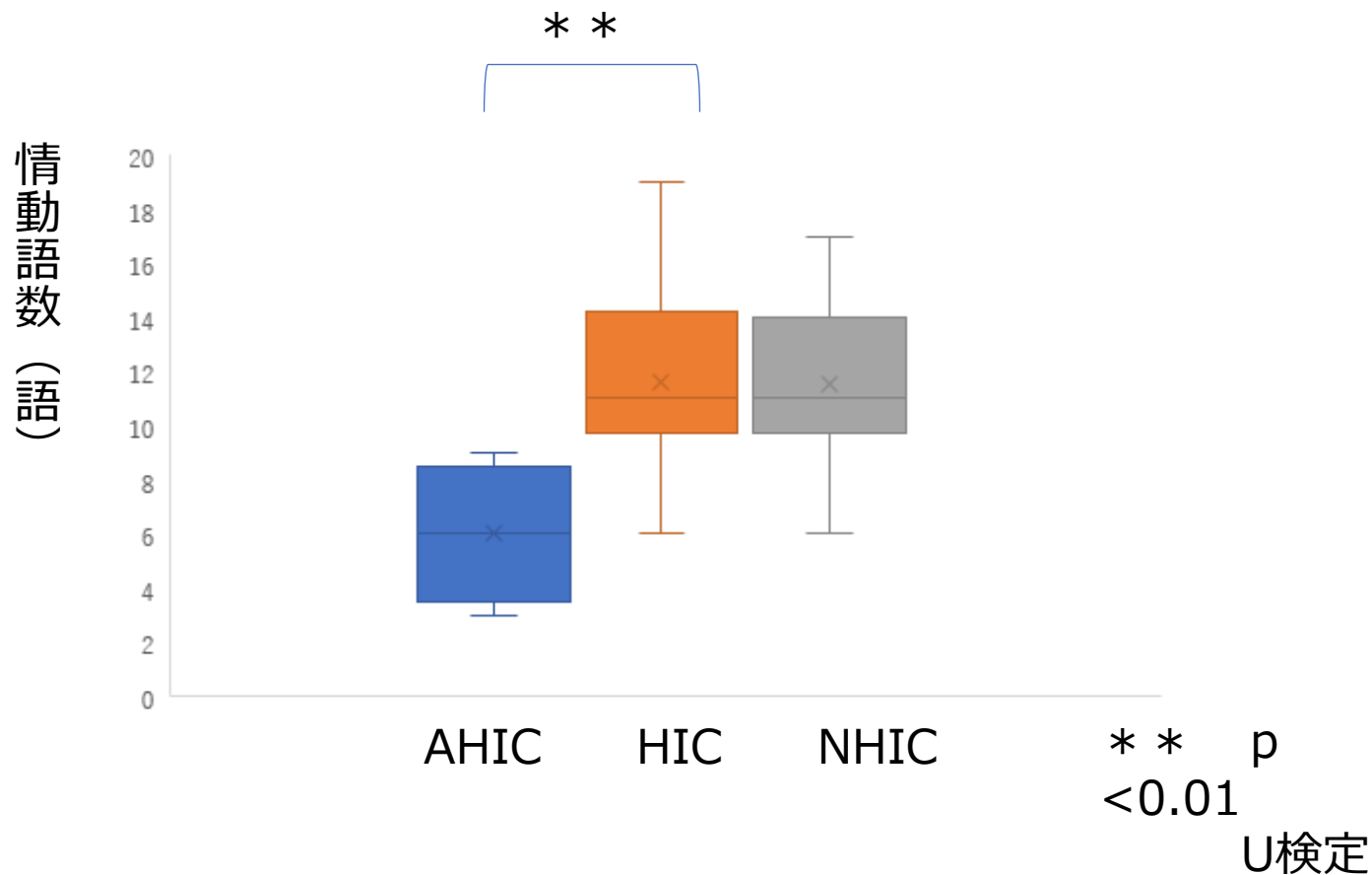
れい：うれしい
しあわせ
にこにこ 歡喜
ハッピー

分析

- ・ 情動語数についてAHIC、HICとNHCで群間差を求めた（U検定）。
- ・ 情動語数の内容を検討した。

結果

AHIC,HIC,NHCの情動語数

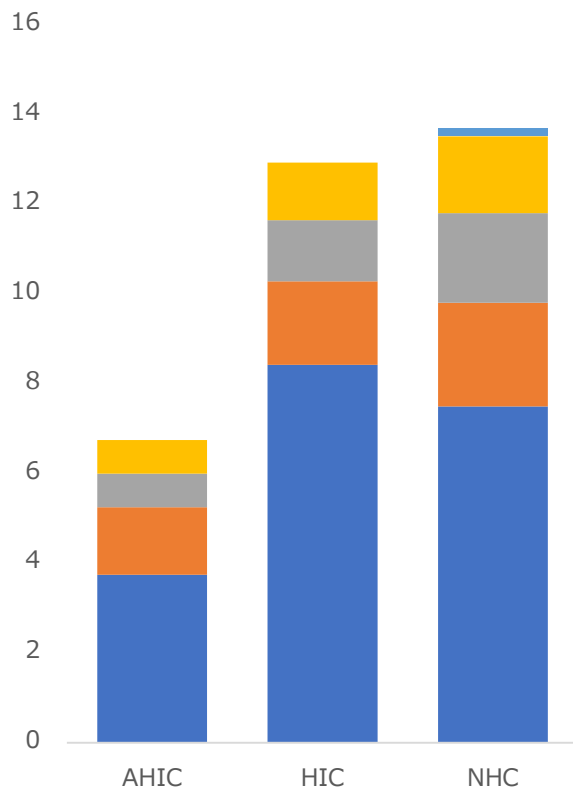




この絵を見て表記された語

表記された全語の内訳

情動語数
(語数)



	AHIC	HIC・NHC
■ 判断不可		みている ねー
■ 異なる情動		お願いします 気分が悪い いいな
■ 類似した情動		ぼうっと かわい つかれた だるい 泣きそう がっくり しゅん
■ 標的行動	怒られた イヤなこと言われ た	考え事 困っている 思っている けんか 怒られた 仲間はずれ 別れ おなかすいた 謝ら ない
■ 標的情動	悲しい 寂しい	悲しい 寂しい 切ない 心配 不安 心細い どうしていいか分か らない

考察

自閉症を伴う難聴児

- **推測できる情動語が少なく、基本感情に限られること**は、自閉症に起因。
- 推測した情動が合わないことあると考えられ、対人コミュニケーション困難さに関係する。
- 相手の表情や状況に気づかせ、情動を言語化し気づかせる手立てが必要。
- 語彙力の著しい遅れのない対象児ではあるが、情動語の理解について把握する必要がある

自閉症のない難聴児

- 高学年期では、聴覚活用ができ、聴児と同程度の情動語の推測ができるようになっていた。